

東京医師アカデミー クリニカルフェロー

消化器内科コース 募集要項

1) 応募資格	平成31年4月時点で6年以上の医歴があり、以下のすべての要件を満たしている方 ① 消化器疾患を専門とした3年以上の診療実績がある ② 日本内科学会認定内科医の資格を有している
2) 募集人員	1名程度
3) 所属先	東京都立墨東病院 内科
4) 研修期間	3年間
5) 選考日	平成31年1月30日(水曜日)(予定)
6) 選考会場	応募者に直接連絡いたします。
7) 選考方法	個別面接(20分程度)、口頭試問(20分程度)
8) 合否連絡	選考後3週間以内に合否をご本人にご連絡いたします(合格通知後1週間以内に誓約書の提出をお願いいたします)。
9) 応募方法 提出書類	以下のものを申込期限までに下記 11) の申込先に郵送すること ① 応募用紙兼履歴書 ② 医師免許証の写し ③ 認定医・専門医等の資格証明書の写し ④ 推薦状2通 ⑤ 上下部消化管内視鏡検査、内視鏡的治療実績 ⑥ 学会発表実績(学会名、演題名) ※提出いただいた書類はご返却できませんので予めご了承下さい。
10) 申込期限	平成30年12月21日(金曜日)必着
11) 申込先及び 問合せ先	〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎24階中央 病院経営本部経営企画部職員課医師アカデミー担当 (電話)03-5320-5861
12) コース内容 に関する 問合せ先	浅野 徹 (東京都立墨東病院 内科部長) (電話)03-3633-6151(代表)
13) 備考	選考日当日は、医師免許証の原本を持参すること。

消化器内科コース

主たる研修病院 (所属病院)	東京都立 墨東病院	
連携して研修する病院・施設 (予定)	東京都立駒込病院	
研修時に必要とする知識・技量 (応募資格)	①平成31年4月時点で6年以上の医歴のあるもの ②消化器領域疾患を専門とした3年以上の診療実績のあるもの ③日本内科学会認定内科医の資格を有しているもの	
コース 責任者	氏名(所属)	浅野 徹 (東京都立墨東病院 内科部長)
	資格名	日本消化器病学会専門医・指導医、日本肝臓学会認定肝臓専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本胆道学会認定指導医、日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医
	専門分野	消化器疾患全般、肝炎/肝硬変/肝がんの診療、消化器領域悪性腫瘍に対する薬物療法
臨床指導体制	当院は地域の中核病院であり幅広く消化器系疾患の診療を行っている。慢性疾患だけでなく、ER診療を行っていることから消化器系の救急疾患の診療機会も多く、また地域がん診療連携拠点病院に指定されてため悪性疾患症例数も多い。指導医、研修医を含めた3～4人のグループ制で病棟診療を行うが、受け持ち症例については適宜指導医の指導の下で消化管内視鏡などを用いて侵襲的な処置・治療の技術を習得し手技に熟練する。外来診療も担当するが指導医と症例検討をおこないつつ悪性腫瘍に対する外来化学療法も担当する。朝夕のグループ内カンファランス、週1回の消化器科全体カンファランスにて上級医師、指導医と科内症例について広く検討し消化器疾患全般に対する専門的知識を習得する。	
臨床 研究	これまで 行ってきた 研究と実績	『genotype 1型のC型慢性疾患に対する直接作用型抗ウイルス剤による治療効果』、『直接作用型抗ウイルス剤によるHCVウイルス消失後のC型慢性肝疾患症例における血清アルブミン値と肝線維化徴候の推移に関する検討』、『日本人の自己免疫性肝炎症例におけるHLA-DRに関する検討』、『大腸憩室出血症例における緊急内視鏡検査の有用性に関する検討』、『抗血栓薬内服者における出血性胃十二指腸潰瘍の臨床的特徴についての検討』他。平成26年度～29年度において全国規模の学会においてワークショップ3演題、一般演題49演題発表、国際学会2演題発表
	今後行う 研究と 研究体制	『内視鏡的粘膜下剥離術(ESD)後の潰瘍治癒におけるヘリコバクターピロリ除菌の影響』、『胆道結石症に対して医療経済的観点を含めた有効な内視鏡的治療法の確立』、『閉塞性黄疸に対する胆道ドレナージ後の減黄速度に寄与する因子についての検討』、『非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)症例において肝線維化抑制に寄与する因子についての検討』、『悪性腫瘍に対する化学療法施行時において有害事象による治療脱落を減少させるための工夫』
研修項目	消化器疾患(消化管、肝胆膵)全般における知識、診断治療能力の習得。内視鏡診断能力および治療的技術の習得・向上。超音波ガイド下肝生検、経皮経肝胆管ドレナージ、経皮的肝膿瘍ドレナージ、ラジオ波焼灼術など侵襲的肝胆道処置・治療の技術の習得。学会・研究会での発表(年3回以上)、論文投稿(年1編以上)。	
研修内容・達成目標	上部消化管出血50例、下部消化管出血 90例、急性肝障害 20例、慢性肝炎 40例、肝硬変 20例、良性および悪性疾患による閉塞性黄疸・閉塞性化膿性胆管炎 100例、急性膵炎20例、慢性膵炎 10例、炎症性腸疾患 20例、食道癌 10例、胃癌(早期胃癌含む) 75例、大腸癌 30例、肝臓癌 20例、胆道癌 15例、膵臓癌 15例の症例を受け持ち、内視鏡的消化管止血術80件、内視鏡的粘膜切除術(EMR) 120件、内視鏡的粘膜下剥離術(ESD) 115件(食道5件、胃100件、大腸5件)、内視鏡的食道静脈瘤硬化療法(EIS) 20件、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査(ERCP) 300件、超音波ガイド下肝生検 30件、経皮経肝胆管ドレナージ術(PTCD) 10件、ラジオ波焼灼術(RFA) 10件。コース在籍中に日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会認定肝臓専門医の資格の取得を目標とする。	
コース内容に関する 問合せ先	浅野 徹 (東京都立墨東病院 内科部長) TEL:03-3633-6151(代表)	